



『ピカドン』（初版オリジナル復刻版）／『ピカドン』とその時代 刊行記念企画展

『ピカドン』とその時代

●『ピカドン』とその時代 刊行記念トーク

10月28日（土）午後2時

小沢 節子（日本近現代史研究者）

鳥羽 耕史（早稲田大学文学学術院教授）

鷺谷 花（大阪国際児童文学振興財団特別研究員）

高橋 由貴（福島大学人間発達文化学類准教授）

山本 捷馬（琥珀書房代表）

岡村 幸宣（原爆の図丸木美術館学芸員） ※出演者は予定、当日変更の場合あり

●幻灯『ピカドン—広島原爆物語—』上映・徳川夢声『連鎖反応 ヒロシマユモレスク』朗読の会

共催：令和5年度科学研究費助成事業（基盤研究B）冷戦前期・東アジア英米文学のジオポリティックス（研究代表者：吉原ゆかり）

11月11日（土）午後2時

片岡 一郎（活動弁士）

※いずれも参加費無料（美術館入館料別途）

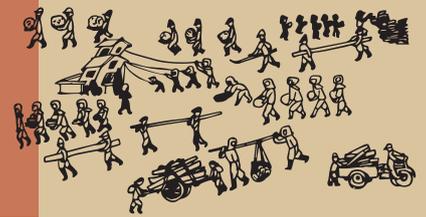
2023年 2024年
10月7日（土）～1月28日（日）

原爆の図 丸木美術館

埼玉県東松山市下唐子 1401 T 0493-22-3266

原爆の的確な記録であるばかりでなく、
ファンタスティクな魅力をそなえたこの小さな絵本

—大江健三郎（『ヒロシマ・ノート』エピローグより）



1950年8月6日、画家の丸木位里と赤松俊子（丸木俊）は、『ピカドン』と題する小さな絵本をポツダム書店から刊行しました。

連合国軍の占領下、そして朝鮮戦争勃発直後の緊迫した時代に、『ピカドン』は検閲によって報道が禁じられていた原爆の惨状を、「原爆の図」とともに人びとに伝えました。反米目的の出版物としてたびたび押収されたという証言もあり、原画は行方不明のままです。

1965年に岩波新書『ヒロシマ・ノート』を書いた大江健三郎は、『ピカドン』の挿絵をカットに使い、『ピカドン』という小さな絵本のことを記憶している人々が、果たしてどれだけいるだろうか？ オレンジ色の紙表紙に、ひとりの老婦人の肖像が描きだされた、この絵本はすばらしく衝撃的な内容をはらんでいる。僕はここにおさめられた六十四葉の絵とそれに附された短いが確実な文章のすべてが復刊されることを望みながら、そのおおよその内容を紹介します」と記しています。

その後、『ピカドン』はいくつかの出版社から復刊されてきました。しかし、初版オリジナル版をできるだけそのままに復刻したのは、今回、琥珀書房から刊行された『ピカドン』が初めてです。また、今日の視点から『ピカドン』の意義を捉えなおすため、小沢節子、鳥羽耕史、鷺谷花、高橋由貴、岡村幸宣という5人の研究者による解説を収めた別冊も制作し、2冊組の刊行となりました。

今展は、その刊行を記念して、あらためて『ピカドン』を見つめなおし、さらに位里と俊子が「原爆の図」を描き全国を巡回した同時代の表現の軌跡を、従来あまり知られていなかった版画やポスターなどの複製印刷物を中心に紹介する試みとなります。



木版画《原爆の図》1950年



京都総合原爆展ポスター 1951年



札幌原爆の図展ポスター 1951年

『ピカドン』（初版オリジナル復刻版）／『ピカドン』とその時代
琥珀書房 2023年 定価：本体 1,800円＋税（2冊1組、分売不可）

●『ピカドン』（初版オリジナル復刻版）
絵・文 丸木位里・赤松俊子（丸木俊）、編集：原爆の図丸木美術館
※オリジナル版『ピカドン』（平和を守る会編、ポツダム書店刊、1950年）

●『ピカドン』とその時代
カラー口絵 幻灯ピカドン／「原爆の図」展ポスター／「原爆の図」関連木版画
はじめに 岡村幸宣（原爆の図丸木美術館学芸員）
『ピカドン』—たぐいまれなる物語— 小沢節子（日本近現代史研究者）
『ピカドン』と「原爆の図」全国巡回 岡村幸宣
『ピカドン』という出版物の流通と変遷について 鳥羽耕史（早稲田大学文学学術院教授）
幻灯『ピカドン—広島原爆物語—』について 鷺谷花（大阪国際児童文学振興財団特別専門員）
『ピカドン』と大江健三郎『ヒロシマ・ノート』 高橋由貴（福島大学人間発達文化学類准教授）



原爆の図 丸木美術館

埼玉県東松山市下唐子 1401 TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

MAIL info@marukigallery.jp WEBSITE https://marukigallery.jp/

【開館時間】AM 9:00 — PM 5:00（12月～2月はAM 9:30～PM 4:30）

【休館日】月曜日（月曜祝日の場合は翌平日）、12/29～1/3

【入館料】一般 900円 中高生または18歳未満 600円 小学生 400円 団体（20名以上）、チラシ持参の方、60歳以上、比企地区在住者は100円割引、障碍のある方は半額

【交通】電車でお越しの場合 池袋駅より東武東上線急行で約1時間（東松山駅・森林公園駅・つきのわ駅） 森林公園駅南口より（約3.5km）タクシー約12分・徒歩約50分 東松山駅東口より（日祝除く）4番乗り場より市内循環バス「唐子コース」（日祝運休）約15分「丸木美術館東」で下車し、徒歩約15分〈バス時刻表〉8:45、10:10、11:10、12:10、14:30、15:35 つきのわ駅より（約2.5km）徒歩約30分

